

さわやか通信

令和6年10月1日発行

No.30

株式会社ウエルフェアネット

会社設立 平成12年12月
代表者 代表取締役 平山正明
事業内容 福祉事業全般 建築地区を中心に
グループホーム 小規模多機能型居宅
介護施設の運営を主たる事業としている
基本理念 住み慣れた地域で安心して健やかに暮ら
せる老後をお手伝いします
基本方針 利用者おひとりおひとり、その人らしい
生活に日々「寄りそう」

あふがまに
楽しく
ゆつたりと

さわやかテラス筑紫野

入居者Jさん



絵 長谷部 啓子

【さわやかテラス筑紫野が開設し 思うこと】



開設した4月玄関にて

令和6年4月に開設し半年が経ちます。23年前に建てていた場所に戻れることはありがたいことだと実感しています。23年前のご家族からも連絡があり、お花をいただいたりお手紙をくださったり、中には入居には早いけど先々にはお世話になるからとご自分の名前を入居の順に入れておいてと言われる方もいました。昔話になりませんが、開設からいるスタッフは建物が新しくなってもなぜか懐かしい気持ちになり初心に戻ると話していました。

スタッフの確保に苦労している日々ですが出会った9名の入居者のみなさんに助けられています。

ひとつのエピソードですが、防災訓練の時に、火事を知らせるサイレンが鳴りスタッフが「〇〇さん声かけて避難してください。」と男性の方をお願いすると、「みなさん火事です。落ち着いて行動しましょう。出口にみんなで行きますよ。」車椅子の人は私がいけますから、みんな逃げてください。」と声をかけられました。他の方も「転ばないようにね、手を

繋ぎましょう。」と避難する姿に感激しました。外にでると互いに労い合いました。



スタッフの行動指針に「スケジュールは作らない」とあります。よく見る光景に入居者の方同士、夕食後になると声をかけ合いお風呂に入られます。「お風呂ありがとうございましたよ、次入ったらいいよ。熱いうちがいいから。」次の人どうぞ。」という会話が聞こえます。スタッフはお風呂ですよ声かけずとも次々に浴室に來られるので「どうぞどうぞ。お手伝いしますね。」と言います。お風呂からあがってみなさんくつろがれると、どこことなく「もう時間ですよ。寝ましょう。」と声をかけ合われます。

時間を決めたりマニキュアを作ってしまうよりも、入居者の皆さんの生活が豊かであればよいと思います。

最後に、開設に至るまでも開設してからも多くの方が「さわやかテラス筑紫野」に関わってくださいています。この場所を選ばれた家族の思いも含め感謝を忘れず日々を大切に過ごしていきます。

(さわやかテラス二日市・さわやか憩いの家二日市)

さわやかテラス筑紫野 統括責任者 田中 順子

【Iさんに支えられた20年の思い】

さわやかテラス春日が開設した当初から入居され20年生活されていたIさんが先日101歳の人生に幕を閉じられました。

入居した頃は近所の八百屋に行き、野菜を選び帰って来ると、食材を切り鍋で煮込み、味付けまでしてくださっていました。「これは何にしなさつと？」というも助けて下さっていて、時には手作りのらつきようや梅酒などを振舞われ、嬉しそうにされている姿が印象的でした。近くの習字教室に通われることも楽しんで所作が美しく奥ゆかしい方でした。

晩年は体調を崩されることが増え目も見えなくなり「どんこんならん」と言われることが多くありましたが、お手伝いする度に必ず「ありがとうございました」と感謝の気持ちを言われていました。

百寿ではケーキを作ってお祝いし、娘さんからお手紙で「長い人生、辛いことにも立き言一つ言わず、ただ辛抱をつらぬく、子どもの為にどんな苦労もいとわず頑張ってくれていた姿が目には浮かぶ」という言葉にご家族との絆やIさんの芯の強さを感じました。

多くを学ばせていただきありがとうございます。ございました。

(さわやかテラス春日 平野 正史)



【クリスさんを迎えて】

さわやかテラス大野城では5月から外国人スタッフが私たちと一緒に働いています。名前はセイニング クリスリン ジョイ ルナ(通称 クリスさん)です。

「私がさわやかテラスで働く最初の外国人として迎えられました。認知症ケアについて学ぶ機会を与えられたことにとても感謝しています。最初は大変でしたが、日が経つにつれて親切なスタッフのみなさんに助けられ徐々に慣れ仕事を楽しめるようになりました。

テラスに採用されるまで日本の高齢者グループホームがどのようなものか知りませんでした。自分の家と何ら変わりません。入居者の方は普段通りの生活を自由に送ることができます。やりたいうことが何でもでき、考えや気持ちを自由に表現できます。テラスを自分の家と呼んで満足し楽しんでる様子がわかります。

私は日本語が得意ではないので、入居者のみなさんとの会話をするのは大変ですが、それでもコミュニケーションを大切にしようと努力しています。みなさんから学べて幸せです。」



笑顔がステキです。



【グループホーム協議会 実践発表】

3月27日に春日市のクローバーラザにて、福岡県高齢者グループホーム協議会主催の第17回実践報告・交流フォーラムが開催されました。

「私にに入るけん」と自分でテラスへの入居を決定されたA氏。晩年は大腸ガンと診断され、全身への転移も考えられていましたが「検査はせんでいい。この年まで生きたけん。寿命。」と治療は望まれておらず、コロナ禍の2022年4月にテラスで息を引き取られました。11年間テラスで過ごされ、最期の2年間に関わらせていただいたこと、『このままここでゆつくりと過ごしたい』との想いに皆で寄りそい続けてきたことを発表しました。

コロナ禍でのみとり支援に關しての発表が多く、他施設での取り組み等を聞いて、とても勉強になりました。

4年ぶりに顔を合わせての報告会開催となり、他施設の方々と賑やかで有意義な交流の場となりました。

他施設の良いところは参考にしながらも、さわやからしさは忘れずに「あるがままに 楽しく ゆつたり」との家訓を大事にしなが、これからも入居者さんと関わりを持っていきたいと思ひます。

(さわやかテラス大野城中央 東 桃子)



【認知症ケア学会東京大会】



6月15日、16日に第25回日本認知症ケア学会大会が、東京国際フォーラムにて行われました。今回の大会テーマは「AI(人工知能)を認知症ケアに活かす」認知症の人を中心としたケアの実践と共生社会実現についてです。

「テクノロジーと介護」と聞くとも相反するものと捉えてしまいましたが、2025年には団塊世代が後期高齢者となり、さらに団塊ジュニア世代が65歳を迎える2040年頃には介護職員の減少が著しいと考えられています。その人らしい生活を続けていくためには、福祉用具や支援機器などのテクノロジーによる環境の整備が不可欠になってきます。介護職員の負担軽減だけでなく、課題は認知症の人にとつて暮らし、心地よいという快を生活の中で作りだしていかなければならぬということです。

身体状況や場所に合わせ、適切な福祉機器用具を選択し、住環境に合わせアプローチ方法を事業所全体で考え、取り組んでいくことができるようにスタッフの教育体制を整えていくことが重要だと考えています。

(さわやかテラス大野城中央 吉田 千春)



【大牟田市認知症 コーディネーター養成研修】

大牟田市認知症コーディネーター養成講座は大牟田市介護サービス事業者協議会の専門部会として、認知症ケア研究会を発足したことから始まります。出発点は、いつでも、どこにいても、誰とも自分らしく、幸せに暮らしをほしいという願いからでした。

大牟田市地域認知症ケア推進事業は4つの柱があり、①認知症コーディネーター養成講座②もの忘れ予防・相談検診③小中学校の絵本教室④ほつと安心ネットワーク模擬訓練の4つを行つていきます。人づくりの認知症コーディネーター養成講座は2年間で400時間の講義と実地研修として認知症ケア当事者同士のミーティングセンター、もの忘れ相談事業の脳の健康チェック、小さい頃からの認知症の理解と啓発のため絵本教室、地域づくりのほつと安心ネットワーク模擬訓練に参加し、今年の7月に修了しました。

認知症であつてもなくても安心して暮らせる町づくりのお手伝いができるようにこれから活動していきたいです。

(さわやか憩いの家二日市 大塚 裕輔)



【九州ブロック小規模多機能 実践発表交流会 in 鹿児島】



令和6年8月31日、九州ブロック小規模多機能実践発表交流会が鹿児島で行われ、参加しました。

4年ぶりの開催でしたが150名もの参加があり、私は『代々続く家を守り続けて暮らしたい』『小規模多機能住宅介護施設で支える10年』というテーマで、要介護5の一人暮らしで自宅に住み続けたいと言われている利用者さんへの日々の関わり方と、利用者さんの願いにどう向き合つたかを発表しました。

発表後は活発な意見と質問をもらえ、とても身になる実践発表でした。今回、九州全県から13事業所の発表があり、どの事業所も苦労や工夫、そして熱意を持つて関わつていることを感じ、「すべては利用者さんを中心に。」司会の方の言葉を改めて心に刻みまし

た。皆さんの熱意に元気をもらえた交流会でした。これからも、利用者さんが利用者さんらしく暮らして頂けるようにお手伝いしていきたいと思ひます。

(さわやか憩いの家二日市 山田 孝子)



【BCP 完成】

日本で初めて新型コロナウイルス感染症の感染者が出たのが、令和2年1月。それから様々な企業や経済全体に大きな影響を与えました。そのため、どの分野の業種でも災害時や感染症の流行時においても事業が継続できるために、何をしなければならぬかを事前に決めておく業務継続計画(以下BCP)の策定を求められるようになりまし

た。我が社も、非常災害感染症対策委員会にて、この2年間BCPの作成を続け、なんとか形にすることができました。災害や感染症流行時でも入居者、利用者の方々が普段通りの生活を送つて頂けるよう計画した内容を実際に取り組みながら見直しをしています。

昨年の5月に新型コロナウイルスが5類になり、感染症対策も緩和されてきました。しかしながら、未だに終息にはならず、第11波の到来や新型コロナウイルスのみならず、他の感染症も拡大している現状にあります。

これからも入居者、利用者の方々が安心して暮らすお手伝いができるよう計画を立てて終わるのではなく、日々実践しながら災害や感染症対策を行つていきたいと思ひます。

(さわやかテラス大野城中央 原田 寛史)



—あの日・あの時—

子育ても一段落し、人生の後半をどのように生きていこうかと考えた時、人の役に立つ仕事をと思い介護の世界に飛び込みました。さわやかテラスに採用され、働き始めた頃とても穏やかな男性入居者の方に出会いました。いつもきちんとしてあり「カテガラスがね」「こは僕の知り合いの家だよ」と話してください、働き始めた私は何故この方がグループホームに入居してあるんだらうと疑問を持ち、上司に伺うと、「だから入居してあるんですよ」と言われて、はじめは理解できませんでした。が、仕事をしていくなかで、なんとなく理解できたように思いました。

その頃の講座には認知症の授業はなく、入居者の方々の生活の中より学ばせて頂けたと思っています。入社後、不安な気持ちを少し持ちながら働いている私に入居者の方々は笑顔で接して下さり、とてもありがたかったです。私はさわやかテラスに約20年程勤務しています。多くの入居者の方々と出会い長い時間を共に過ごし、歳を重ねてきました。スタッフというよりも入居者の方々に近い年齢になり入居者の方々の老いる不安や寂しさを少しですが理解できるようになれたと思います。また、冗談が大好きな入居者の方より「あんただいたい

歳やね、いくつね？〇〇歳？私より若いね」等言われて大笑いしながら過ごしています。

歳を重ねると自宅でも大きな声で笑うことが少なくなり、入居者の方々から私の方が生きる力をいただいています。これからもたくさんお話しをしたり、笑い合いながら共に寄りそい歳を重ねていきたいと思っています。



さわやかテラス大野城
長川 恵子



武田十三子様が、8月9日に百歳の誕生日を迎えられました。事業所でスタッフお手製のケーキとくす玉に「うれしいわ」と喜んでくださりました。百歳の武田さんとこれからも楽しい時間を過ごしていきたいと思っています。

(さわやかテラス大野城 森 俊佑)



編集後記

さわやかテラスに20歳で入職し、5年が経った。

テラスで働いているなかで、さまざまな人生経験を持つている入居者さんと出会い、その度に驚かされる。

食堂や飲食関係で働いていた方は、食事づくりにお誘いすると「しちやるよ」「できんよ」など、それぞれ反応は異なるが、包丁を持つと慣れた手つきでテキパキと切られ、料理のコツを教えて下さる。学校の先生だった方は、歌いながら歌詞の意味やピアノの弾き方を優しく教えて下さる。男性入居者さんに洗濯物たたみをお願いすると、角と角を合わせ丁寧なたたんで下さる。きつと奥さんのお手伝いをしていたのだからと想像ができる。

入居者さんの言葉や動きひとつひとつがこれまで生きてこられた歴史を物語っておられる。

私が年を重ねていったら、どんなことが得意でどんな性格のおばあちゃんになつていくのだろうかとまに考える。将来年を重ねた時、自分が経験してきたことを伝えられるような人になるために、これからさまざまな人生経験を積んできた入居者さんと関わり、学んできたい。

種子島 こなつ

(広報担当 田中順子・紺田光二)

種子島 こなつ・東桃子・森俊佑

ウェルフェアネット令和6年度の活動

- ❖ 社外研修・セミナー参加
 - 日本認知症ケア学会
 - 日本ホスピス・在宅ケア研究会
 - 台湾研修
 - 日本セラピューティック・ケア協会
 - 全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会
 - 九州地区での各種研修
 - 他事業所との合同研修

- ❖ 各団体との関わり
 - 福岡県高齢者グループホーム協議会
 - 筑紫野地区やさしい福祉結の会
 - 日本介護福祉士会
 - 福岡県介護福祉士会
 - 筑紫野地区小規模多機能連絡協議会
 - 大牟田市介護サービス事業者協議会

- ❖ 地域との関わり
 - 各地域の自治会・育成会・老人会など
 - 地域の保育園・小学校
 - 民生委員・福祉委員
 - 各地区の地域包括支援センター
 - 筑紫野市介護を考える家族の会
 - 春日市介護を考える家族の会「ひだまりの会」

検索してね！
検索 さわやかテラス



相談会や講座開催に積極的に協力
認知症サポーター養成講座
社外実習生の受け入れ
公民館活動との連携
災害域相互協定の推進

筑紫野市

グループホーム
さわやかテラス二日市

〒818-0067 筑紫野市俗明院1丁目13番5号
TEL092-918-0045 FAX092-918-0255

小規模多機能型居宅介護施設

さわやか憩いの家 二日市

〒818-0067 筑紫野市俗明院1丁目13番5号
TEL092-918-3830 FAX092-918-0255

グループホーム
さわやかテラス筑紫野

〒818-0042 筑紫野市立明寺533-1
TEL092-917-7011 FAX092-917-7022

大野城市

グループホーム
さわやかテラス大野城

〒816-0971 大野城市牛頭4丁目5番29号
TEL092-513-7511 FAX092-513-7512

グループホーム
さわやかテラス大野城中央

〒816-0942 大野城市中央2丁目5番19号
TEL092-501-0352 FAX092-501-0323

小規模多機能型居宅介護施設

さわやか憩いの家 大野城中央

〒816-0942 大野城市中央2丁目5番19号
TEL092-501-0322 FAX092-501-0323

春日市

グループホーム
さわやかテラス春日

〒816-0863 春日市須玖南1丁目91番地
TEL092-588-3307 FAX092-588-3308

小規模多機能型居宅介護施設

さわやか憩いの家 春日

〒816-0863 春日市須玖南1丁目91番地
TEL092-588-3531 FAX092-588-3308

株式会社ウェルフェアネット本社

〒816-0864 春日市須玖北4丁目10番450
TEL092-582-0757 FAX092-582-0847